

# μPD7210C/D

## GPIB インタフェース・コントローラ

μPD7210 GPIB-IFC (General Purpose Interface Bus-Interface Controller) は、マイクロプロセッサの制御の下で、IEEE Std 488-1978に規定されたインタフェース・バスとマイクロコンピュータ・システムとのインタフェースを行います。

### 特 徴

- IEEE Std 488-1978で規定された全インタフェース機能を持つ。
    - ・SH1, AH1, T5/TE5, L3/LE3, SR1, RL1
    - PP1/PP2, DC1, DT1, C1, C2, C3, C4, C5
  - プログラマブル・データ転送レート
  - 16個のレジスタ
    - ・リード・レジスタ(8個), ライト・レジスタ(8個)
    - ・メッセージ送受信, インタフェース・ファンクション制御, ステータス情報等
  - 2個のアドレス・レジスタ
    - ・MTA, MLA, MSAの検出
    - ・2つのデバイス・アドレス
  - 13種類の個別にマスク可能な割込ソース
  - EOSメッセージの自動検出
  - コマンド (IEEE Std 488-1978規定) の自動処理  
未定義コマンド読出し可能
  - DMA動作可能
  - プログラマブルなバス・トランシーバ入出力指定
  - 1~8MHzクロック
- 
- TTLコンパチブル
  - NチャンネルMOS
  - +5V単一電源
  - 40ピン・プラスチックDIP  
μPD7210C (P40C-100-600A)
  - 40ピン・セラミックDIP  
μPD7210D (P40D-100-600A, P40DH-100-600A)

端子接続図 (Top View)

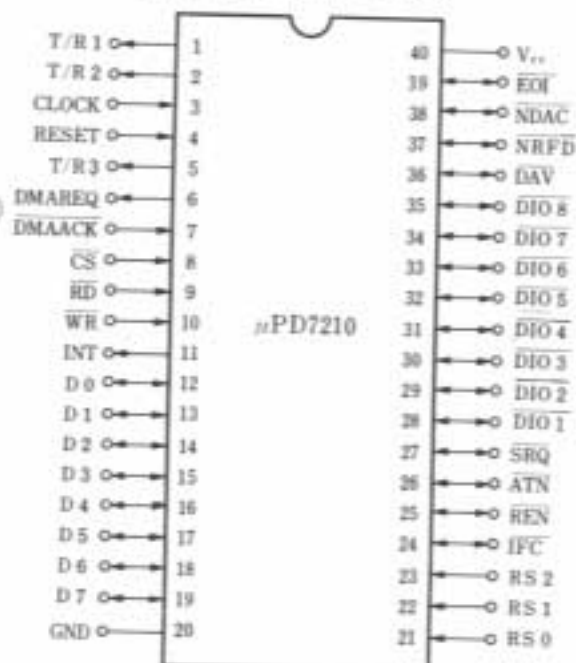


図-1 ブロック図

